



会長就任のご挨拶

東京九学会会長 S11 連川悠一



この度、伝統ある東京九学会の会長をお受けするに当たり、その責任の重大さを鑑み非常に緊張しているところであります。

思い起こせば、丁度10年前、故人となってしまいました。吉永 哲次氏、牧 晋氏、そして現在も幹事として活躍している、吉住 寛氏、上原 壽氏、池部 荷葉氏、等々、S15・S18の諸兄が、不幸にも本校の男女共学問題で休眠状態となっていた東京九学会の活動を再開させる為、大車輪の活躍をされ、今日の発展にもって行かれたのは、周知の事実であります。そして、中園 達哉相談役の助言を得、保良光彦氏（S5）を会長に推挙し、新たなる東京九学会が出発し、不肖、私も副会長として参加することとなりました。私自身は当時、会の存在は承知していましたが、正直あまり関心が無く仕事と遊びに夢中になっていた状態でした。しかし、幹事会に出席しているうちに皆の熱心な態度に引きずり込まれ、無関心ではいられなくなってきたのは、紛れも無い事実です。そして、順調に歩み始めた矢先に保良会長が病に倒れられ、後事を緒方昭義前会長に託され逝去されました。それから今日に至るまで、緒方会長は、その手腕を遺憾なく発揮され、会の発展に尽力された事は皆さんご存知の通りです。本当に長い間、ご苦労様でした。

このような偉大なる指導者の後を引き受けるのは些か荷が重いものを感じています。本校に於いては3年後の開校100周年を控え、その

準備も着々と進んでいるようですし、昨今の話題では、陸上の末續君、大相撲の千代白鵬（柿内君）、女子プロゴルフの有村君、笠君、等々九学出身者の活躍が種々報じられている事は同窓生としては喜ばしい限りです。亦、若手の会である「KG会」の活動も心強い限りです。同じ学舎で学んだ同窓生と言っても時代背景が違う年代の異なる者達、ましてや「肥後もっこす」を自認する熊本県人が一堂に会する事は中々難しいものがあると思いますが、そこは、九学精神を発揮して大所高所から見ていただきたいものです。私自身もこの会に参加して、多くの先輩・後輩の方々の知己を得て、大いに楽しんでおり、また何物にも代え難い知的財産を得たと思っています。願わくば、一人でも多くの皆さんが参加され、同窓会という「仲良しクラブ」になれます様、祈って止みません。私が会長に推挙されたのも、そのような会にするようにとの皆さんの声だと思っています。皆様のご協力のもと、その責を全うしたいと思いますので、宜しくお願い致します。

退任にあたり



S6 緒方昭義

約10年前に、東京九学会が新体制でスタートするに当たり、その発足に多大なる尽力を果たされた連川兄がこの度、会長に就任された事大変喜びに思います。今後は、若手組織「KG会」との連携も含め、東京九学会が「敬天愛人」の精神のもと益々発展されるよう祈念致します。併せて私が7年間、その任を務められた事は会員諸氏のご支援あつての事と深く感謝致します。

米国大統領選挙

S15 竹熊 誠

北京オリンピックは大きな関心を集める中、あっという間に終わってしまいました。ところで、オリンピックの興奮が一段落すると、これも4年に一度の米国の大統領選挙が11月4日に行われます。次の米大統領に誰になるかは、日本を始め世界にとって大いに気になることだけに、選挙戦の行方からは目が離せません。

われわれ九州学院の卒業生にとっては、学院の設立と米国とは切っても切れない縁があるだけに、とりわけ関心の深い卒業生も多いのではないのでしょうか。民主党候補のオバマ候補(47歳)なのか、それとも共和党のマケイン候補(72歳)なのか、どちらが次の米大統領に選ばれるのか、興味津々です。

米2大政党のシンボル民主党と共和党にはそれぞれ決まったシンボルがあります。右のロバは民主党を、左のゾウは共和党を表します。ロバ(民)は勇敢、謙虚、知性を、ゾウ(共)は力強さ、知性、威厳をそれぞれ現していると言われます。果たして今回の大統領選を制するのはロバかゾウか？

ところで、米国大統領はどういう手順で選ばれるのでしょうか。わかっているようで意外に知らない部分が多い米大統領選の仕組みを、折角の機会なのでこの際、簡単におさらいしてみました。

米大統領選では第一段階として、民主党と共和党のそれぞれの党の大統領候補者選びが行われます(どちらの党にも属さない独立候補者もいますが、選挙の大勢には関係ありません)。今回は、民主党からオバマ上院議員とクリントン上院議員という強力なライバルが出馬を表明し、激烈な予備選挙戦の結果、予備選挙半ばにオバマ氏に軍配が上がったのはご承知の通りです。オバマ氏は黒人として、また一方のクリントン氏は女性として、どちらが大統領になっても米国史上初のケースになるだけに、この予備選挙は国際的な関心と呼び

ました。各党の候補者は正式には党大会(民主党は8月、共和党は9月)で決まりますが、通常は党大会を待たずに、州ごとに行われる予備選挙の段階で決まります。共和党の候補者はかなり早い段階でマケイン氏に決まっていた。

そしていよいよ11月4日の大統領選挙本番を迎えることになるわけですが、厳密に言うと、この日、米国の有権者が選ぶのは、大統領を決める「選挙人」といわれる人たちで、この選挙人による最終投票を受け、初めて“正式”に大統領は決まります。

州ごとに選挙人の数は決められており、各州で勝利した候補がその州の選挙人を「総取(そうどり)」します。選挙人の数は計538人ですから、270人以上獲得した候補者が大統領になります。(もっとも制度上、正確に言えば、大統領に決まるのは、この選挙人による最終投票後、来年1月の連邦議会の場ということになりますが、最終



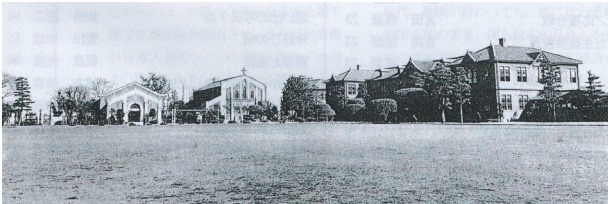
の投票で、選挙人が有権者の意向を無視して、別の候補者に投票することはまずあり得ません)。民主党候補のオバマ氏はハワイ州ホノルル生まれで、ハーバード大を出た秀才。上院で唯一のアフリカ系米国人で、父親はケニア生まれ、母親はスウェーデン系白人です。当選すれば、米国史上初の、アフリカ系大統領となります。一方の共和党候補のマケイン氏は、ベトナム戦争で5年間の捕虜生活を耐え抜いた、いわば、米国人好みのヒーロー・タイプです。いずれが勝利するにせよ、今年の大統領選は激戦になると専門家は見ています。

来春 国歌 The Star-Spangled Banner:

“おお、君よ見ずや 明けそめぬ 光の中に
我らが誇るあの旗を 明けゆく光の中に・・”
を聞いて、就任式に臨むのはどちらでしょうか。

九学校庭今と昔

東九通信読者には、“み神のたまいし ころの玉を みがきし学びの 家をたちいで…”（讚美歌440番）を最近歌った方も大昔歌った方もおいでになるでしょう。ここで、紙面を借り、われらが心のふるさと九州学院校庭の今と昔を比べて見たいと思います。先ず、よく見る 元祖九学風景。



九学新聞 祝創立40周年記念号1面を飾る景色

今、ほぼ同じ場所からみると、こういう景色。



昔 寄宿舍の玄関があったあたりから

次の2つは新旧俯瞰図です。



昭和30年(S7卒業の年) の俯瞰写真



近年の航空写真

新旧2つの写真、新しい方を反時計方向に約90°回すと方向が一致します。古い俯瞰図では上方左手に講堂（現ブラウン記念チャペル）と図書館が写っています。新しい航空写真で ブラウン記念チャペルは、右手中程の位置にあり、残念ながら図書館は今ありません。左手下方に白く見えるのが本館、その上の蒲鉾型の建物は体育館（大）、下部中央に白く写る2階建ては新屋敷から移ってきた九州学院みどり幼稚園、屋根が黒く平らな建物は、ホログラフィーか 壁に十字架が浮き出るといふ中学校の建物です。昔の体育館は今も体育館（小）。正門は昔 図書館の斜め後ろにありました。今の正門は電車通り側、昔の裏門です。昭和初期



昭和初期の正門 奥に寄宿舍が見える

の正門は、立派な東門になっています。今、チャペル前の植え込みの場所に遠山先生顕彰碑が建ち、中央に「自分で自分を監督し 役に立つ善人たれ」



遠山参良初代院長顕彰碑

と先生の遺訓。石碑には、昭和10年10月9日、二代院長稲富肇先生がお書きになった文語の謝恩記が刻まれています。（右の銅板はその現代語訳）。…謂へラク学院創設ノ目的ハ善士ヲ養成スルニ在リ而シテ心性ノ陶冶ハ教理ニ基クヲ要スト乃チ自ラ靈育ノ語ヲ撰ヒテ之ヲ標榜ス… 蓋し名文です。（記 東九通信編集子 古い写真は九州学院90年の歩み2001年11月より）

活躍する後輩達

S30 (柔道部 OB) 島本 誠

九重部屋の千代白鵬(柿内大樹/J52)と千代錦(平田三斉/J51)はともに九学柔道部出身の力士です。このところだいぶ認知度も上がりOBの皆さんにも応援いただいていることと思います。先の名古屋場所では千代白鵬が西前頭16枚目、千代錦が東三段目77枚目でともに勝ち越し。特に千代白鵬は5月場所の十両優勝で念願の新入幕を果たしており、場所後の8月2日には熊本にて九学主催による化粧まわしの贈呈式も決まっていたので、負け越し即十両落ちとなる名古屋場所は相当なプレッシャーの中での戦いだったと思います。しかも5勝4敗で迎えた10日目の垣添(かきぞえ)戦では右上腕部の肉離れというアクシデントにも見舞われ、突き押しを得意とする本人にとっては非常に厳しい状況での後半戦となりました。使えない右手を補うべく、まわしを取ったり立会いで変化したりと本来得意ではない形の相撲を余儀なくされましたが、試行錯誤の甲斐あって13日目にうれしい勝ち越しをきめることができました。



8月2日熊本にて化粧回し贈呈式

場所後「怪我して以降は使えない右手をカバーするため九学柔道部の頭脳とセンスで戦いました」と明るく話していましたが、テレビでの勝ち越しインタビューの際には右手の指をまわしに掛け固

定するような仕草が見られたように、腕は痛みでほとんど動かさないような状態だったようです。(インタビューの受け答えはさすがに九学卒と思わせる大変落ち着いた立派なものでした)腕の怪我は全治3週間と聞いていますが、しっかりと養生して次の場所に備えてほしいと思います。九月場所ではKGの文字が刺繍された化粧まわしで幕の内の土俵入りに登場するはずですが。一方の千代錦は足の骨折で昨年末に二場所連続で休場し心配されましたが、復帰後は順調に勝ち越しを続けており九月場所では三段目の上位に上がって来ることが予想されます。ちょうどテレビ中継の開始直後に登場してくるあたりの位置です。

さて、陸上男子200m日本記録保持者 末續慎吾選手(S51)は、8月25日成功裏に閉幕した北京オリンピック400mリレーに第2走者として出場し、見事な走りとバトンパスで銅メダルを獲得し、日本陸上界に新しい歴史を刻みました。また、女子ゴルフでは有村智恵さん(J56)が6月のプロミスレディーズではプロ初優勝を遂げました。これも嬉しいニュースでした。相撲界、陸上界、ゴルフ界と様々なシーンで活躍する後輩達は実に誇らしいものです。ただの同郷ではなく、同じ学び舎で育ち多くの共通項を持った後輩達です。この「後輩」という響きがとても心地よく、同じ応援するにしても親近感が違います。話題が彼らに及ぶ度に「あの子は僕の後輩だもんね」と彼等の活躍は最近一番の自慢の種になっています。



誇るべき同窓アスリートに囲まれて幸せ

岡山(S25)・柿内(千代白鵬)・筆者・平田(千代錦)
岡山崇崇は世界の岡山(バスケ)全員立っとなつてますヨ

メジャーリーグ観戦記

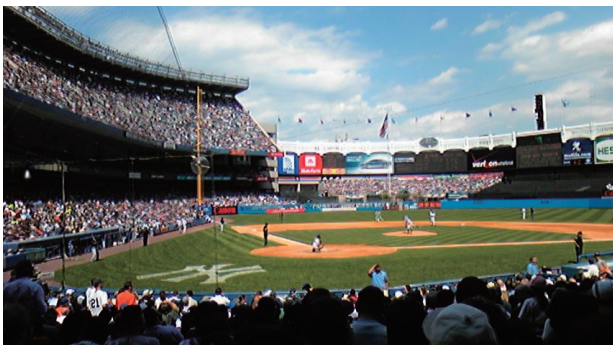
S53 吉岡佐知子

「メジャーを観に行こう！」

今年5月、そう思い立ってニューヨークへ。

私は現在プロ野球の横浜ベイスターズでリポーターをしています。3年前に始めたころは野球など無知に等しいくらい。それが、試合での選手の活躍の陰にどんな苦悩があったのか、グラウンド外ではどんな素顔をもっているのかなど取材していくうちに、野球の面白さを知り、どんどん野球を好きになっていきました。プロ野球選手の凄いところは、夢を夢と思わず「目標」として掲げ、その目標を達成するためにはどんな努力も惜しまないところ。今回メジャーを見に行こうと決めたのは、そんな一流の選手たちが「夢を追いかけたい」と言って渡るほど憧れる舞台ってどんな魅力があるのかを感じたかったのです。

向かったのは今年が最後の年となるヤンキースタジアム。1923年に建てられ、あのベイブルースもプレーした歴史ある球場。私が観戦した「サブウェイシリーズ」は、普段は対戦しないニューヨークが本拠地のヤンキースとメッツが行うニューヨーカーにとって待ち遠しい交流戦。球場の通路を通り抜けると、目の前には澄み渡る青い空と広がる緑の天然芝のグラウンド。歓声、オルガンの音にボールの音。「メジャーに来たんだ！ここが本場のボールパークだ！」と、人生初の体験に胸が踊りました。ヤンキースの4番・ジータ選手のTシャツを着て、ホットドッグを片手に私もニューヨーカー気分で観戦スタート！まず驚いたのは、ファンが攻守



Let's go Yankees! Let's go Mets!

関係なく大好きなチームの応援を続けていること。「レッツゴーヤンキース！」と声が上がると、すかさず「レッツゴーメッツ！」と応援合戦。応援するチームのピッチャーが1アウトを取ると優勝したかの様な盛り上がり。逆に打たれてしまうとブーイングの嵐。本場はファンも盛り上げ上手です。そんな中、4番を努めていたのが松井秀喜選手。こんな凄い試合で日本人が4番を打っている。それだけで、なんだか私まで誇らしく感じました。



4番松井

すると、そこでとても嬉しい出来事が。「日本から一人で勉強に来たのか」と、ヤンキース広報&環太平洋担当の広岡勲さんがプレスルームへと通してくださったのです。そこには松井選手を追いかけている日本人記者さんたちの姿がありました。日本で何気なく見ている松井選手のインタビューやニュースは、こういう皆さんによって届けられているもの。そう思うと、メジャーリーグに挑戦するという事は、自分だけでなく日本からの期待と責任を痛いほど感じながらプレーしているのだと思いました。

次の日には、3Aと呼ばれるマイナーリーグの試合へ。メジャーリーグとはまた違って、食事や移動も過酷な中でプレーしているというマイナーリーグ。その中には、元阪神タイガースの井川慶選手の姿もありました。井川選手ほどの一流の選手でも、簡単に成功するわけではないのがメジャーリーグなのだ改めて感じました。日本でも、華やかなプロ野球の舞台で活躍でき

るのはほんの一握り。九学野球部の同級生や先輩も、1軍の試合に出ていないと地元では「あの選手はどうしたんだ」という会話をよく耳にします。でもリポーターを始めて2軍の試合や練習へ行くようになると、九学からプロへ行った選手も、1軍の舞台へ上がるチャンスをもにしようと必死に汗を流しているのだと知りました。1軍でプレーするという事は、そうやって努力を続けて掴んだもの。そういう姿を目にすると、私も頑張らなくては！と刺激をもらいます。今回の体験で、日本では「イベント」という意味も強いような気がする野球観戦もアメリカでは日常のこと。プレーするほうだけでなく応援する方も「心から楽しむ」ことに慣れているなど感じました。楽しかったメジャーリーグ&マイナーリーグ観戦。

マイナーリーグはファンサービスも盛んなので、みなさんも是非一度は体験していただきたいです。もちろん、日本のプロ野球も面白いですよ。でも、次はやっぱり甲子園で九学の応援をしたいですね。



さちこ in New York

吉岡佐知子●九学-明治学院大卒。熊本のテレビ局報道記者、巨人軍マスコットガールチーム・ジャビッツを経て、現在横浜ベイスターズ・オフィシャルレポーター

趣味に生きる・パートI

S4 (演劇部 OB) 森田 茂

丁度60才の還暦を迎えた年に、仕事上関係のあった印刷業界の経営者で、極上の趣味を持った人達の披露の場として「通の会」と言うのがあり、その第二回目の公演が、向島の一流料亭で開催された際、招待を受け鑑賞させて貰ったことが、私のリタイア後の人生に素晴らしい変化をもたら

した。その「通の会」で、新内の粋な語り口に新内の粋な語り口にすっかり魅了され、新内を始める切っ掛けとなったのである。3年3ヶ月の異例の速さで「二代目・富士松魯寿賀太夫」を襲名し、何時の間にか14年の歳月が経ってしまった。会社をリタイアした後「江戸芸かっぽれ」や、



笑福お面踊り

「お面踊り」を習い始め、「お面踊り」の方は「成田家笑仙」の芸名で、現在プロとして後進の指導に当たると同時に、「笑福座」と言う一座を立ち上げ、お笑い芸人の登竜門と言われている「浅草・東洋館」にレギュラー出演するところまでになった。年令のこともあり、何時までやれるか分からないが、健康に益々留意しながら続けたいと思っている。皆さんのご声援ご支援をお願いしたい。

訂正とお詫び ●前号記事「九学健児霊育の・・・」の中に、“東京九学会のホームページもできましたがアクセスが少なく、開店休業の状態です”とありますが、これは事実と異なり、同ホームページは、内容は極めて充実しアクセスも確実に増えております。事実を知らず、確認せずに行きました事を深くお詫び致します。 竹熊 誠

お知らせ

1. 神奈川支部総会 10月18日(土)開催。
場所は横浜ガーデンホテル。
2. KG会総会11月22日(土)。開催場所未定
3. 2009年度東京九学会総会(予定)
平成21年6月6日(土)午後4時半より。
場所：青学会館
4. 熊本県人会総会 11月13日(木)。
場所は後楽園ドームホテル。